

平成28年9月21日
京都市会 市会改革推進委員会

龍谷大学内期日前投票所運営の実践から

Ryu-Vote/政策実践探求演習「投票率向上PJ」

4回生 稲田啓祐 深尾拓史 吉岡佳音
3回生 平田佳佑 松森雄一郎
2回生 香村美蘭 中村裕也 **1回生** 川口篤周
世話役 土山希美枝（政策学部教授）

私たちが龍谷大学への期日前投票所の設置を提案する際に目標としたこと

- 若い世代の投票率の向上
- 投票への物理的な距離を縮める
- 「投票に行こう」という心理を作りやすくする

大学内期日前投票所の設置の経緯

- ☆ 3月の市会改革推進委員会における
伏見区投票率向上プロジェクトによる提案ののち、
大学と京都市の検討があり、
モデルとして龍谷大学内に期日前投票所を設置することが決定
6月13日に公式に発表

日時 7月7日 8日 12:00~18:30

伏見区の選挙人名簿登録者のみ対象

※不在者投票は行わず

『政策学入門（政治学）』特別講義

● 概要と目的

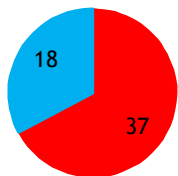
- 選挙制度を知ってほしい
- なぜ選挙に行くのかを考えてもらう
- 政治家を選ぶ基準を学生自ら考えてほしい
- 選挙に立候補される議員さんの生の声を届けたい

● 日時

- 6月16日 10:45～12:15

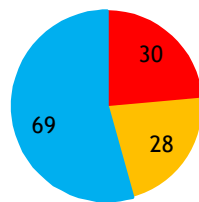
特別講義実施時のアンケート

伏見区に住民票を置いている人への質問



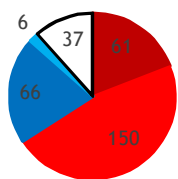
- 龍谷大学内期日前投票所で投票してみたい
- 龍谷大学内期日前投票所では投票したくない

下宿生への質問



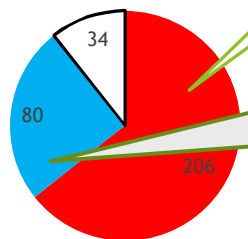
- 実家に帰って期日前投票するか、当日投票するつもりである
- 実家に帰らずに不在者投票をするつもりである
- 実家に帰るつもりもないし、不在者投票もするつもりはない

今回の参議院選挙に関心がありますか？



- 大いに興味がある
- まあまあ興味がある
- あまり興味がない
- ほとんど興味がない

今回の参議院選挙で投票に行くつもりですか？



- はい
- いいえ
- 無回答

- 自分たちの年齢の意見を伝えるチャンスだから
- 自分達にとって初めて参加出来る選挙だから

- 時間もないし、どの政党がどんな政策を打ち出しているのかも知らない
- 住民票が実家にある

期日前投票所の取り組み

Ryu-Voteを結成

- 今回行われた参議院選挙を盛り上げるための活動を行う、龍谷大学内の有志で構成されたグループ
- 総勢34名

●コンセプト

『選挙を楽しもう』

- 投票することへの心理的な距離を近づけ、選挙の盛り上げを目指した。



Ryu-Voteの活動

Ryu-Voteでは大学内期日前投票所設置をアピールするために3つの取り組みを実施した

- ・ **選挙盛り上げ隊**
- ・ **投票済み証で何かいいコト班**
- ・ **不在者投票支援ブース**

・選挙盛り上げ隊

- ・イベントの実施
- ・投票所案内の目印の設置
- ・インスタグラムを利用した広報
- ・チラシ配りによる選挙、投票所の周知



成果

- チラシ配りや立て看板の設置で投票所の周知ができた
- 写真撮影用フレームを用いたことで学生の目をひいた。

反省

- イベントではあまり学生に関心をもってもらえなかった

・投票済み証で何かいいコト班

期日前投票に訪れた方に独自の投票済み証、感謝証を配布し、近隣の店で割引等のサービスの提供

成果

- 地域の飲食店と協力してPRに取り組むことができた



反省

- 学生が多く利用する施設(生協、コンビニなど)とは連携できなかった
- ※生協は組合員以外へのサービスは協同組合としての決定があり、時間の制約があったため不可能であった

・不在者投票支援ブースの設置

下宿等の理由で当日投票できない人に向けて制度を説明し、封筒・切手を用意して、書類の作成の手助けをするブースを設置



成果

○60名の方が利用

特に期間の後半はPRの効果により、順番待ちも現れた

○故郷に住民票がある学生に対して投票の助けとなった

反省

○活動人数や設備の関係もあり、天候の制約もあった

龍谷大学内期日前投票所設置を振り返って

全体の投票者数 424名

学生の投票者数 40名

利用者・学生の声

- ・投票に行くきっかけになった
- ・活動を見て選挙のことに関心を持った

社会的な評価

- ・期日前投票設置とそれに関連する活動そのものへは新聞・テレビから高い評価
- ・一定の効果はあったが、学生の比率が低かったのが残念だった

京都新聞社<http://www.kyotonp.co.jp/politics/article/20160719000160>

※千葉市中央区の淑徳大学では投票者数236名のうち学生は25名だった

龍谷大学内期日前投票所設置を振り返って

成果

- 投票に行く、選挙に興味を持つきっかけとなれた
 - 投票所利用者数には出ない多くの学生が投票に行くきっかけとなった
- 全体として424名の方々に投票していただいた
- 地域の投票の利便性の向上に役立てた

反省

- 学生の投票者数が少ないという批判もある数字となった
- 選挙・政治に対して学生の関心を惹くことの難しさを改めて実感
- 関心を持ってくれるきっかけにはなったが、きっかけづくりに留まったともいえる
- 期間の制約もあり、法学部・政策学部以外の学部
に十分広げられなかった

今後の若者と選挙、期日前投票について

Ryu-Voteの活動では、政治に関心を持つきっかけ作りができたが
きっかけだけで実際の投票まで進められたわけではない
→日常的に政治に関心が持たれるための取組が必要だと感じた